

次回のお知らせ

第2回ワークショップ

今回はワークショップ第2回です。
みなさまの参加をお待ちしております！

参加者募集しています！

参加の方は、下記までご連絡下さい。

第二回目から初めて参加になる方のみ、
[名前、住所、電話番号、メールアドレス、生年月日]
を教えてください。

Email … info@watari-grb.org

Tel/Fax … 0223-7735

〆切 …… 7月13日(土) 12:00まで

現地までの交通費は自己負担となります。
報酬はありません。予めご了承下さい。

今後の予定

全5回のワークショップ。みなさんの参加をお待ちしております。

| 第1回(終了) | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 |
|--------------|--------------------|------------------|----------|----------|
| 6月16日(日) | 7月14日(日) | 8月4日(日) | 8月25日(日) | 9月15日(日) |
| 地域環境を調査します！！ | 調査資料を評価し、使える情報を抽出! | 海岸防災林の計画づくりをします！ | | |



お問い合わせ

わたりグリーンベルトプロジェクト事務局
宮城県亘理郡亘理町字上茨田38番
クリスタルコート カストル館202
URL * <http://watari-grb.org/>
お問い合わせ * 0223-35-7735
当日お問い合わせ * 080-4131-5687(細田)

02

日時 * 7月14日(日)
10:00~16:00(雨天決行)

場所 * 逢隈働く婦人の家
(亘理町逢隈田沢鈴木堀6-8)

持ち物 * 筆記用具、昼食、飲み物、
帽子、動きやすい服装と靴
(場合により、沿岸部で観察会を実施)
第1回レジュメ、第1回ニュースレター、
マスタープラン、宿題で調べたもの



当日お手伝いさん募集！

準備を一緒にして頂ける方は、9時半に
会場に起こし頂けますと幸いです。

わたりグリーンベルトプロジェクト
[25年度版]第一回 6月16日(日)実施

わたりグリーンベルト



みんなでこせっぺ！おらほの森

Part
2

ワークショップ ニュースレター 報告

01

防潮林基本計画策定



* 当日参加人数 / 31名 (男性18名、女性13名)

亘理、逢隈、荒浜、吉田、町外の各地区から参加

はじめに

わたりグリーンベルトプロジェクトにご参加頂いた皆様へ

こんにちは。
梅雨入りをし、夏が近づいて来ましたが、いかがお過ごしでしょうか。

この度、「みんなでこせっぺ!おらほの森 Part 2」と題して、
防潮林基本計画策定ワークショップを、
2013年6月から9月にかけて5回開催することになりました。

2012年9月には、町の皆様、約70名の方々と共に
基本構想書(マスタープラン)を作りあげました。

今回のワークショップでは、その中の防潮林に焦点をあてます。
「50年後、100年後、さらにその先、地域に根ざす防潮林づくり
の実現に向けて、今年9月を目処に、
国に提案する基本計画書を作成します。

沿岸部の防潮堤や防潮林の復旧工事は、肅々と進みますが、
皆様の次世代への想いを、そこに織り交ぜてもらうためには、
実現可能なプランを提示しなければなりません。

「どんな防潮林を次世代に引き継ぎたいか」
をテーマに、
想いを実現していくための話し合いです。
皆様の、まちに対する想いがとても大切になります。

ご参加、心よりお待ちしておりますと同時に、
6月16日(日)に開催された
「第1回防潮林基本計画策定ワークショップ」の
ニュースレターを作成しました。どうぞご覧下さい。



当日のながれ

10:00

運営委員長
鈴木征治さんの挨拶



新規参加者紹介／ひとこと挨拶

昨年の振り返り
大議論会のその後をおはなし 4

対話（活動への思い） 5

11:30

今後の流れを説明 6

昼食



12:45

沿岸部の視察 8



休憩

沿岸部の視察のおさらい

次回までの宿題／チーム分け 10

16:40

閉会

大議論会からの振り返り



今年3月に開催された大議論会で、「こんなことやりたいな」という活動のアイデアが出されました。その中で、進捗があったものに関して、活動の中心メンバーから活動報告がありました。

防潮林部会



(発表者:加藤登さん)
現在、亶理町泉ヶ入で広葉樹を中心に、苗木の生産をしています。町民の皆さん、町外から来る企業ボランティアさんの力を借りながら、約6万本を育てています。昨年のワークショップで植えたヤマザクラも元気に育っています。

子ども部会



(発表者:大村美智子さん)
わたりグリーンベルトプロジェクトへの、子どもの参加を推進しています。今年は、長瀬小学校4年生の総合学習で御一緒することが決まりました。他にも仮設住宅での苗木づくり等も行う予定です。メンバー募集中です。

熱気球フェス



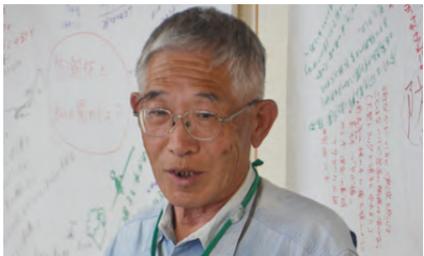
(発表者:永沢舞さん)
10月19日～20日で開催することが決定しました。わたりグリーンベルトプロジェクトの活動をもっと多くの人に知ってもらいたいし、自分たちの力でつくりあげたいです。メンバー募集中です。

農地



(発表者:加藤登さん)
亶理町吉田東部地区の耕作放棄地になりそうな農地を集約して、小規模から農業をしたいと考えています。農業法人を立ち上げて、大畑浜南地区の一区画からとりかかる予定です。

自然と遊ぶ



(発表者:米山明則さん)
7月に亶理町の浜の植生観察会を開催する予定です。有志で集まり、植物に詳しい米山さんの解説を聞きながら、どんな浜の植物が生えているか皆で学びます。珍しい浜の植物が発見できるかもです!

集う場づくり



(発表者:隈川浩さん)
毎月第4金曜日に有志が集い、色々な人の交流を目的としたコミュニティカフェを開くことになりました。6月28が第1回目で、皆でピザづくりを体験します。場所はバリーズガーデン(消防署西の苗木直売所)です。

この活動に参加する意味、それぞれの思い



この活動に参加したきっかけ、またどうしてここにいるのか、グリーンベルトに対し何を思うか。まずはグループになって、お互いの思いを語り合いました。

* ふるさと再生と環境に関わることに興味があった。人から人への暮らしや遊びの伝授のきっかけの場をつくれれば、と思う。吉田浜という地区の名が消えてしまう さみしいです。どうにか、どんな形であれ、残したいなあ。親が植えたマツが流されたので、今度は私が植える手伝いをしたい。

* 時間をかけないと成果のみえないところが、すごく難しくも、魅力的に映りました。



* 防潮林はあって当たり前のものでなくなるとは寂しい。長い時間をかけて取り戻したいな。ボランティアではなく、自然体。

* 元気があればきっと何かが起こる、し、出来る。



* 皆と一緒に話をしたり、仕事をしたりしたいと思います。

* 地域の森作り。亶理に合った森を作りたい。国任せではなく。

* 地域の人とどうやっていくのか。どう知ってもらうのか。住む方と一緒にデザインを。共に歩む方法を。



防潮林基本計画策定ワークショップのながれ

11:30

2012

基本構想策定

2013

基本計画策定

『100年の森を作る』
わたりグリーンベルトプロジェクト
構想の実現に向け、
いよいよ第二章がスタートします！

昨年の5回のワークショップでは
防潮林の再生とともに、
どのような町にしたいのか
みんなで構想を語り合い、練る、
という工程を経て、
思い描く未来をマスタープランという
カタチにしてまとめました。



0 | 6/16(日)

いまここ！ 環境を調査します！



自然環境
水門 動物
植生 地形
気象

社会環境
人的資源
土地利用
上位計画



文化環境
文化財／
歴史的遺産
生活文化

類似事例

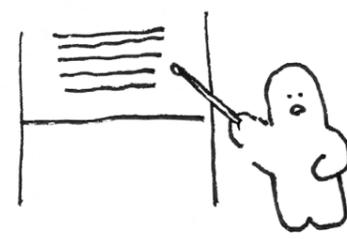


ワークショップ1・2回では、
主に地域環境、特性についての調査。

02 7/14(日)



調査資料を評価し、
使える情報を抽出！



基本方針を決める。

基本方針を考え、
マスタープランの
見直しをしましょう。

講師の小河原さんにご説明いただきました！

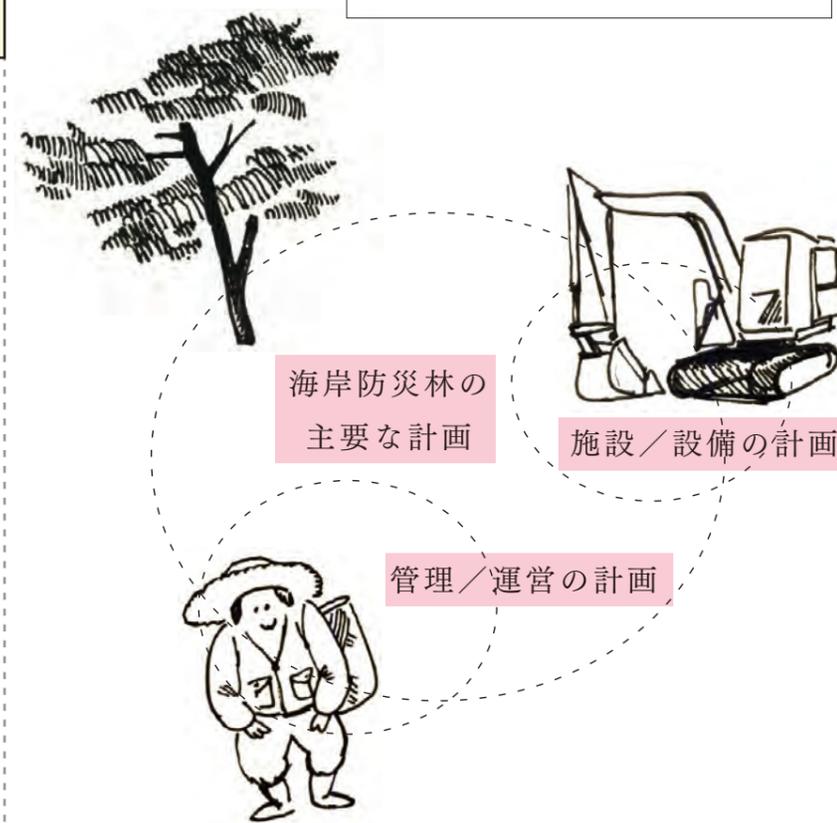


05 9/15(日)

04 8/25(日)

03 8/4(日)

海岸防災林の
計画づくりをします！

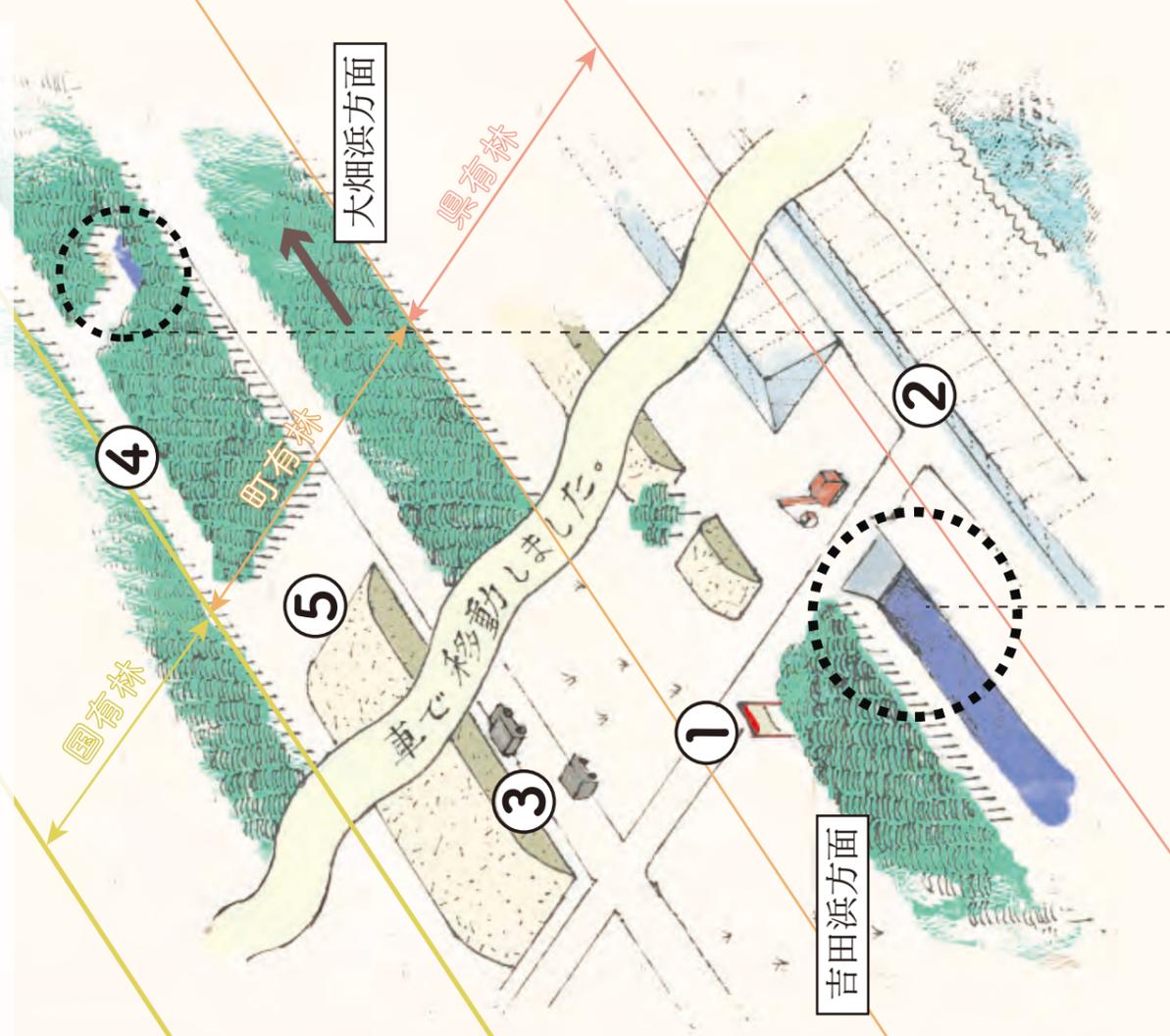


3・4・5回では、海岸防災林に関しての
計画を立てていきます！



このマーク部分は、
参加者みんなで、
調査していきます！

今現在の沿岸部を、その脚で歩いてみました。



<視察の流れ>

①看板の前で、小河原さんによる工事の内容の説明。



②防波堤にのぼり、海をのぞきました。とても滑りやすい場所でした。近くにはハマヒルガオの花が、今日のために咲いてました。



③車に乗って北上、吉田浜方面から、大畑浜方面へ。



④国有林と町有林の間の通路を歩きました。クロマツとヤマザクラに挟まれて、気持ちの良いところでした。一方で触るのもあぶない！というツタウルシという植物もありたり。



⑤最後に盛り土のところに安達さんが登って、みんなで記念撮影！2時間ほどあるきまわった視察を終えました。



見つけた植物たち



イタチハギ
増えすぎてクロマツの成長を妨げている。



ニセアカシア
茎にトゲが生えている。白くてきれいな花を咲かす。



ハマヒルガオ
やさしいピンクの花を咲かす。地面にびたっと、くっつくように生える。



スイカズラ
白い花を摘んで吸ってみると、甘い味がする。皆で味見をしました。



ヤマザクラ
大切な広葉樹。赤い実をたくさん実らせていました。

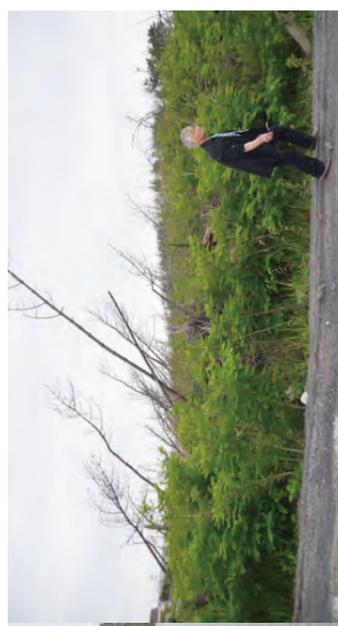


メマツヨイグサ
夜に花が咲くので、「宵を待つ」という風になづけられた植物。

●水の溜まった道路



ここはかつて道路だったところ。震災後、未だにそのとき超えてきた海水が残っています。またすぐ近くにはなぎ倒された木々が。その倒れ方から、波が南からきたことがわかります、と小河原さんからの説明がありました。



●息づいたいのち



一方で、震災があったから根付いた命も。写真左の草花は津波によって運ばれた種が咲いたもので、ハマエンドウという名前。以前はこのあたりには生息していませんでした。また、シオクグという植物は鳥の海エリアにしか生息していなかった種類。しかし震災後、もともとは水路だったところがため池のようになり、水の流れがとまったことで、シオクグが住みつけるように。そんなふうに今だからこそ、ここで息づいているいのちの存在を知ることが出来ました。

調査のチーム分け、 それぞれの宿題

15:40

今回の小河原さんからの説明にあった、

- ①自然環境（植生、動物、水文）
- ②社会環境（人的資源）
- ③生活文化 ④類似事例

という分野ごとにチームに分けて調査をします。
その調査内容と、次回までの宿題をまとめました。




自然環境
チーム



自然環境という領域の、とくに植物と鳥や昆虫類、そして水位を中心とした調査をします。
(大河内美智子、竹島佐絵子、鈴木達也、加藤登、肥塚真、岡崎由利、一宮嘉輝)

<調査方法>

図書館にある図鑑の情報収集と、実地調査を行なうことで、自然環境の今とこれからの見据えていきます。調査の際は、特定の分野に詳しい方も積極的にお誘いしていくつもりです。また、福島県との県境にツバキが生息している磯山という山があり、そこにも調査に入る予定。現在、決定している調査予定は6月22、23日。

<次回までの宿題>

書籍などからの情報収集および、
実地調査の結果。



社会環境
チーム



今後 GB とどんな団体がいいパートナーになっていただけるだろうか、を考えます。
(嘉藤一夫、安達日向子、丸子キヨ子、森飛鳥、深瀬悦みつ、手代北斗、大村美智子、細田幸恵)

<調査方法>

まずどんな団体があるかを分担して調べます。以前から植林を行なっている団体や、防潮林と何らかの関わりを持っている団体はもちろん、そうでなくても NPO、ボランティア団体、JA、生協や教育関係などなど、いろんな角度から調べ、探ってゆきます。

<次回までの宿題>

さまざまな団体の調査、
そのリストアップ。



生活文化
チーム



これまで防潮林が、生活とどう結びついてきたかを掘り下げるチームです。
(小河原孝生、小野好悦、片岡義隆、隈川浩、狩野裕一)

<調査方法>

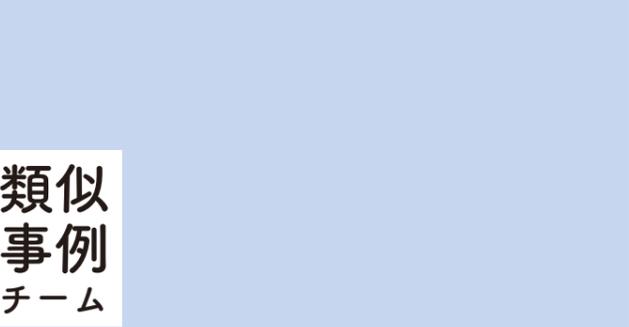
植物と生物の利用方法（どんな風に食べた、など）や、生活における習わしなどのことを取り扱います。悠里館内の図書と、実際にその文化に触れてきた高齢者の方へのヒアリングを中心に調査を進めます。

<次回までの宿題>

インタビュー記事のようなまとめと、
その内容の分類。



類似事例
チーム



GB と似た事例を調査することで、これからの動きを考える手助けになります。
(高見澤敏行、佐々木キミ子、泉和男、小野寺鈴子、鈴木征治、高畑淳一郎、山口智彦、永沢舞)

<調査方法>

国との関係性がキーポイントになるGB プロジェクト。その動き方としてどんな事例があるのか、それを探ってゆきます。
人脈のある高齢者が団体との関係をつなぎ、行動力ある若者で実際にコンタクトをとるというような流れをつくってゆけば、と考えています。

<次回までの宿題>

GB と似た性質を持つ、
団体・プロジェクトのリストアップ。

この宿題の成果をもとに、次回のワークショップは進めてゆきます。

次回のワークショップは、7/14です。がんばりましょう！ 11

ニュースレター制作

わたりグリーンベルト事務局 細田幸恵

武蔵野美術大学視覚伝達3年 鈴木健太

山木あすか